



国名	マラウイ共和国 (Republic of Malawi)
面積	118,484平方Km (日本の約1/3)
人口	1,756万人, 人口増加率2.9% (2018年: マラウイ国勢調査)
首都	リロングウェ
独立	1964年7月6日
公用語	英語, (国語: チェワ語)
政体	共和制
大統領	ラッスル・チャクウェラ



日本マラウイ協会

設立: 1983年2月26日

- Homepage: www.japan-malawi.org
- Email: info@japan-malawi.org
- Facebook: facebook.com/japan.malawi
- Twitter: twitter.com/JpMalawi
- YouTube: [Malawi Society of Japan](https://www.youtube.com/channel/UC...)

入会ならびに会費納入のお願い

当会は、会員が納入する会費により運営を行っております。会の目的、活動内容に賛同される方々のご入会、会費納入をお願い申し上げます。

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物の送付なし
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

ホームページからお申込みいただく方法が最も簡単ですが、集いなどの受付でもお申込みいただくことも可能です。

※年会費のオンライン支払はホームページをご参照ください。

方法	口座など
銀行振込	三菱UFJ銀行 東恵比寿支店 (普) 0255739 「日本マラウイ協会事務局 貝塚」
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキウ店) (当) 0013125「日本マラウイ協会」 ゆうちょ銀行送金: 口座番号00190-7-13125



駐日マラウイ共和国大使 グレンガー・バンダ氏 帰任へ

2016年11月に着任された駐日マラウイ共和国特命全権大使のグレンガー-K.Mバンダ氏はこのたび、任務を終えられてマラウイへ帰任されることとなりました。当会活動に大変協力いただき、両国の友好と関係強化に尽力されました。当会へメッセージをいただきましたのでご紹介します。

FAREWELL MESSAGE TO MALAWI SOCIETY OF JAPAN

Before I say anything, let me begin by expressing my deep sorrow and sadness as we all remember the passing on of our dear Chairman for the Malawi Society of Japan, who departed on 5th February 2021, late Ambassador Mr. Motoyoshi NORO. The people of Malawi will remember late Mr. Motoyoshi NORO as the first resident Japanese Ambassador in Malawi, and a person who remained so passionate about Malawi until he died; may his soul rest in eternal peace.

I arrived in Japan on 25th November 2016 to take up a diplomatic post as the seventh Malawian Ambassador to Japan. Today, I want to break the news that my tour of duty in Japan is coming to an end after serving for four and half years. Over these years, the Malawi embassy under my leadership has seen the Malawi Society of Japan (MSJ) actively supporting us and has actively supported projects in Malawi through crowdfunding and other sources. Recently, MSJ has conducted research activities on the impact of JOCV in Malawi and has organized yearly fora on various topical issues. All these activities are aimed at keeping up-dates as we continue to forge ahead of the cooperation and friendship that exists between Malawi and Japan at the community level. Malawi and Japan will be celebrating the 50th Anniversary of Cooperation and Friendship in August 2021. I have noted very keenly the preparations MSJ leadership has put in place in order to achieve a very successful ceremony. I, therefore, assure you that the Malawi Embassy in Japan will avail itself wherever needed.

Last but not the least, I would like to inform readers of this article about the end of my assignment in Japan as Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary and that I will be returning to Malawi any time when all preparations for my departure are completed. Therefore, this article serves as my farewell notice to you all. I now take this opportunity to express my sincere appreciation for the cordial relations, both personal and official that exist between the Malawi Mission and Malawi Society of Japan. I am confident that our relations will be maintained and further strengthened in the future and that you will accord my successor the same warmth. The people of Japan will always have a special place in the hearts of my wife Irene and me.

日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体。



KWACHA

<http://www.japan-malawi.org> info@japan-malawi.org

追悼:野呂元良日マ協会長 感謝と両国関係強化さらに取り組むこととお約束

日本マラウイ協会副会長 西岡 周一郎



2月5日、野呂元良会長ご逝去の報に接し、悲しみと共に大きな喪失感を感じずにはられません。今年当会の中心メンバーである青年海外協力隊のマラウイ派遣50周年の大きな節目で周年行事にはお元気な姿をと思っていただけに残念な限りです。ここに謹んで哀悼の意を表します。

会長は、長く外交官として活躍されました。宗教・哲学にも造詣が深く、南アジア、アフリカでの駐在や国際協力分野等の幅広い経験を生かし、2008年～10年、初代常駐マラウイ日本国大使として両国関係深化の最前線でご尽力頂き、13年当協会長に就任されました。

日本で開催された第5回(2013)と第7回(2019)のTICAD(アフリカ開発会議)の際、マラウイ首脳を接遇頂きました。また、講演、会合等の機会では、世界の平和と安定、開発途

上国成長の重要性、その為のマラウイをはじめとするアフリカの可能性に期待を込めて熱い思いを述べておられました。

特に次代を担う日本・マラウイ両国の若者・学生諸氏の活躍こそがその礎であると、その支援に繋がる会の諸施策に理解をし、一緒に取り組んで頂きました。

日本・マラウイ両国関係の発展に尽くされると共に、後進への足跡を残された事に改めて深く感謝いたします。

昨年からのコロナ禍は、感染症が社会・経済・政治体制の違いを飛び越えて一気に世界で拡散、グローバル化の進んだ現代では、遠い世界の事が、瞬間に自分事になりうる事、オンラインで物理的な距離を飛び越えて人々が繋がる世界が目に見える事を改めて人類に知らしめています。

これからも、会員一同、身近になりつつあるマラウイと日本との絆をより太く、強固なものにすべく、さらに取り組む事をお約束して、会長のご冥福を心からお祈り申し上げます。

野呂会長の「オンラインお別れの会」に世界からアクセス



故 野呂元良氏

日本マラウイ協会会長の野呂元良氏が2月5日、ご病気のためご逝去されました。73歳でした。野呂会長は三重県出身。1971年、慶應義塾大学を卒業して外務省に入省。外交官として経歴を重ね、インドのコルカタ総領事を経て2008年～10年、在マラウイ共和国

日本国特命全権大使(初代常駐大使)を務められました。2013年5月から当協会長。亡くなられた2月5日付で、従四位瑞宝中綬章を授与されました。

2月11日、東京都江戸川区内で開かれたご家族を中心とした告別式は、当会の側嶋康博理事、吉田均理事らが技術的な作業を担い、Zoomを用いた「オンラインお別れの会」として中継されました。野呂会長の幅広い人脈から、長男の元城さんによると国内だけでなく世界中から多くの方にご参加をいただきました。

告別式の会場で、奥様やお子様「闘病中、家族で集まり、多くの時間を共に過ごすことができ、これまで触れたことのないようなことも含めていろいろ話をしました。今はとても満足です」と述

べておられたのが印象的でした。

奥様は「多くの方が見舞いに訪ねてくれました。帰り際、逆に夫が『頑張りなさい』と励ましていたのが思い出されます」と微笑みながら話しておられました。

野呂会長ご長男・野呂元城さんからのメッセージ

オンラインお別れの会後、参列された方々から多くの連絡がありました。ほとんどが生前から父と懇意にしていた方々でした。

アクセスとしては133でしたが一つの端末に対して家族や夫婦中には地域の人が集まり見ていたことが分かりました。参列者は10か国以上から300人以上であったと思われます。まさにオンラインでないといけないことであったと思います。

父が一過性の大使ではなく、退官後も日本マラウイ協会の会長として日本とマラウイのために尽力してきたこと、そしてそのことを証明するかのよう日本マラウイ協会が主催してお別れ会をして頂いたこと、遺族としては父を誇りに思いますし、日本マラウイ協会に本当に感謝しています。

日本マラウイ協会 定期総会のご案内

項目	内容
1 日時	2021年6月26日(土) 13:30~14:30
2 場所	オンライン (下記URL/右のQRコードより事前申込ください)
3 申込	https://msj2021sokai.peatix.com





協力隊マラウイ派遣50周年記念 特集

オンライン6月の集い

6/26 (土) 15:00~18:00

教育

保健

農業



田中 永和



鈴木 直喜



吉田 修



丹羽 克介



深水布由実



河上 彩



菅野 将央

これまで、そしてこれから。
本年 第2弾！
▼詳細・無料申込▼
msj2021june.peatix.com



「50周年記念企画第2弾です。前回3月20日には、計84名（日本 68、マラウイ 8、他のアフリカ 4、アジア太平洋 4）の方にご参加いただき、バンダ大使や外務省カロンガ局長のご挨拶に続き、貝塚初代隊員や草苺OV+テンダ先生の研究発表があり、交流会も数時間という盛況でした。第2回となる今回は、マラウイへの派遣が多い3職種を代表して7名の方にお話しいただき、国造り、人づくり、そしてマラウイの発展を感じる機会となればと思います。多数のご参加をお待ちしています。なおこの企画は年内にあと2回開催予定です。

Zoomで参加いただけます

参加登録された方は、現在広く利用されているZoomを使ってビデオ会議に参加いただけます。開始30分前から接続できますので、ご準備ください。

その1
オンラインの集いに参加ください！



準備するもの

いずれかの端末



イヤホン（またはヘッドセット）

通信：WiFiなど

スマートフォンモバイルネットワーク（4G等）でも閲覧できますが、長時間視聴しますので、契約されているデータ量を消費することになります。利用量の制限のない有線のインターネット回線、または、無料のWiFiで参加されることをお勧めします。



コロナ禍、当会活動もオンラインへシフトします

今回のコロナ禍は日本マラウイ協会の活動にも大きな影響を与えました。理事会は昨年2月を最後に、会場のJICA地球広場が使えなくなるなどして、リモート、オンラインでの会合を余儀なくされました。同年5月に予定されていた定時総会の延期のほか、「シマを食べる会」などで、幅広い交流の場となる恒例の8月の「マラウイを語る会」もオンラインの集いとなりました。マラウイ国内でもコロナ禍は大きな影を落としています。マラウイ保健省の発表によれば、マラウイでの今年5月16日現在のCOVID-19（新型コロナ）の累積患者数は3万4214人となっています。

5/10 高知の高校生向けにオンラインで“マラウイ事情紹介&SDGs”の授業 杉下智彦 教授（当会理事）

高知県立高知西高校の生徒たちがSDGsについての学習を行うにあたって、同校教諭の崎本貴子先生から、当会へ協力の要請をいただきました。マラウイの公衆衛生についてのことだったので、杉下智彦理事（東京女子医大教授）にお願いし、5月10日オンライン授業を実施していただきました。

崎本先生からは「杉下先生のお話の内容が具体的で、しかもとても分かりやすく、生徒たちも『とても参考になった』『今後、マラウイの魅力を伝えるポスターを作り校内に配布し、衛生環境の重要性を伝えるポスターを作成し、マラウイへ送付したい』と言っている」との連絡をいただきました。

今後の生徒たちの学習、そして活動に期待が寄せられます。

8/22 初の本格的オンラインの集い（同時通訳付）を開催しました

2020年のテーマは「未来創造」。マラウイから帰国した協力隊隊員、在日マラウイ人留学生、マラウイと交流する日本人学生・生徒、そしてNPOメンバーといった若い方たちと未来に焦点を当てたセッションを開きました。マラウイの今日の報告、文化・スポーツのセッションなどで盛り上がりました。インターネットを用いて世界中どこからでも参加でき、参加は無料でした。結果的には、マラウイを含む世界中から500人近い事前登録をいただき、大盛況でした。



FMラジオでマラウイと日本マラウイ協会が全国に紹介されました。

「いま」起きていることを見つけよう —FMラジオ番組「On The Planet」で、当会理事の草苺康子さんが電話インタビューを受け、マラウイの国情、マラウイ協会の活動などを話し、1月15日、全国に放送されました（当会HPにて視聴可）。

マラウイ「カントリー・オブ・ザ・イヤー」受賞 大統領選の民主的再選挙を評価

昨年12月、マラウイは英国エコノミスト誌の「カントリー・オブ・ザ・イヤー2020」を受賞しました。マラウイでは大統領選を巡り自由と民主主義のために国民が立ち上がったことが評価され同賞の受賞に至りました。

2019年5月の大統領選挙で現職が僅差で再選を果たした直後、野党側の訴えから選挙結果の集計の不正を巡り憲法裁判が行われました。2020年2月の一番判決を支持するかたちで最高裁判所は集計の不正により同選挙結果を無効とし、再選挙を命じました。判決確定までの間、市民のデモは全国に広がり、行政は停滞、一部治安の混乱も生じました。判決後、6月の再選挙では過半数を獲得しチャクウェラ大統領が誕生。野党が逆転勝利の再選挙はアフリカ大陸初ケース。（JICA「マラウイ点描」等）

訃報：G.K.カバロ氏 交通事故死 マラウイ協力隊の現地チェワ語教師、事務所職員として貢献

水谷恭二（日本マラウイ協会理事）

1980年代は新隊員の現地訓練チェワ語講師、90年代にはボランティア事務所調整員らと共に働いたG.K.カバロ氏が、交通事故でご逝去されました。

2020年12月31日、カバロ氏はブラントイヤ市キャンパドウェの元JICA事務所近くの4車線道路を横断中に片側の2車線中央の白線上で立ち止まり、車両の通過待ちの間に、スピードを出して接近してきた車両にはねられた模様です。病院に運ばれたものの治療の甲斐なく、同日に帰天され、翌2021年1月1日、HHI墓地に埋葬されました。享年79歳でした。

亡くなられた時、溶接店を運営されていたそうです。

隊員として私は現地訓練でカバロ氏の青空教室の授業を受け、今、もっとしっかり勉強していればよかったと後悔しています。2005年、私がJICA事務所勤務のため再度マラウイに赴任し、再会したときのお元気な姿を思い出しています。

ご家族（夫人と子供7名）に主の慰めを祈ります。

悲報に接し、現地でお世話になった多くのOVから悼む声がありました。



50th Anniversary of Cooperation and Friendship Between Japan and Malawi
Call for Your Active Participation!

協力隊マラウイ派遣50周年
これまで、そしてこれから。

その2
あなたのマラウイ作品を提出ください！

その3
オンライン広場へ参加ください！

3/20 Online Spring Forum 2021 オンライン春の集い2021

3/21 Call for Your Messages, Essays, Photos, etc. メッセージ・エッセイ・写真等 作品募集

3/21 Call for Participation in MSJ's Social Networking 日マ協会 オンライン広場 参加募集

https://www.japan-malawi.org info@japan-malawi.org